



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3001号 2016.5.4 発行

この春から地域の子ども会の役員になった

西日本新聞 2016年05月04日

この春から地域の子ども会の役員になった。回覧板を各家庭に回したり、地域の運動会の準備をしたり、いろいろと忙しい。

「子どもたちが喜ぶなら」と励んでいるが、疑問に感じることもある。これほどITが発達した時代に回覧板はメールに切り替えるなど効率化ができないのだろうか。また、平日夜の話し合いに集まるのはほぼ全員が母親。父親は仕事で地域活動に参加する余裕がないのかもしれないが、何だかふに落ちない。

でも、熊本地震の被災地を見て考えが変わった。回覧板を回すたびに地域のどの家にも子どもがいるかを把握でき、互いに顔を覚えられる。いざというときに助け合えるはずだ。避難所で女性や乳幼児への配慮が見落とされがちだと聞くと、母親たちが中心になって動く地域組織があることも重要だと思えてくる。

まずは大型連休中の朝に予定されている公園掃除を頑張ろう。（井上真由美）

長男と同じ障害、おなかの赤ちゃんに 夫婦で悩んだ末 浜田知宏

朝日新聞 2016年5月4日

一家で散歩。兄妹は田や花を見ようと夫婦の手を引く＝香川県、伊藤進之介撮影



香川県で暮らす4人家族。休みに散歩を楽しむ。会社員の夫（46）はよく笑う長女（5）と手をつなぎ、主婦の妻（50）は音楽が好きな長男（9）とつなぐ。兄妹には重度の知的障害がある。長男のときは出産後に染色体検査を受け、長女のときは受けたうえで産んだ。

「白く映るはずの胎児の脳が見えません」。妻が、医師から告げられたのは、2003年9月。妊娠4カ月の健診で、超音波検査を受けたときだ。37歳だった。

精密検査を受け、医師から「死産になるかもしれない。生まれても、人として生きることは難しい」と告げられた。翌月に陣痛誘発剤を使用し、胎児を体外へ出した。両手におさまるほど、小さい女の子だった。妻は前の年に流産したばかりだった。

05年夏、4度目の妊娠で、順調に成長する胎児が確認できた。経緯を知る医師から、胎児の染色体検査を勧められたが、夫婦は断った。「やっと育った命なんです。何があってもあきらめたくない」



長男が産声をあげたのは、06年4月。足の指が6本あり、医師から長男の染色体検査を勧められた。生後1カ月で、染色体に異常があり、知的障害の可能性が高いと告げられた。「スプーンを使って自分で食べますか」「自分の名前が言えますか」。母子手帳に記された子の成長を問う質問に、「いいえ」の回答が少しずつ増えていった。

もう1人子どもがほしい。そう望んだのは夫だ。夫婦が老いた後に長男を支えてほしいとの思いだった。妻は戸惑った。「その子に同じ障害があったら育てられないよ」

09年夏、43歳のときに妊娠。今度は、妻が胎児の染色体を調べたがった。経緯を知る医師が、大阪で出生前診断の専門クリニックを開いたと聞き、訪ねた。

絨毛（じゅうもう）検査で、胎児に長男と同じ障害があるとわかったのは秋だった。医師からは「障害はあるけども、生きられる命だ」と説明された。胎児は女の子だった。中絶が認められる妊娠22週まで、残り10日ほどに迫っていた。

### **熊本市 被災者向け住宅 倍率15倍「とても当たらない」** 東京新聞 2016年5月4日

熊本市は三日、熊本地震で自宅が全半壊するなどした市民に無償提供する約二百五十戸の市営住宅について、入居者を決める抽選を市役所で実施した。

三千九百四十九世帯が応募し、平均倍率は一五・八倍の「狭き門」。中でも提供戸数が十戸しかない中央区では、九百世帯が応募して九十倍と高くなった。最も低い北区でも四・四倍。熊本県も同日、県営住宅六十二戸の抽選をした。十二倍を超える七百九十の応募があった。

熊本市の抽選では、申込者の中から選ばれた住民が立ち会い、市職員がくじを引いた。くじに記された当選番号が読み上げられると「惜しい」とため息をつく立会人もいた。

熊本市東区の自宅が被災し大分県日田市の実家に避難している立会人の上田幹子さん（68）は、「熊本市内で建物管理の仕事を続けたいから、住めるところがほしい」と切実な様子。だが、抽選に外れたのを見届けて「どうしようもない」と涙を流した。一方、会場には入れなかった熊本市東区のトラック運転手草野繁さん（68）は「申し込みで二時間半並んだが、とてもじゃないけど当たらないだろう」と諦めムードで市役所を後にした。

結果は四日以降に公表され、六日から入居が始まる予定。市は「高齢者や障害者が当選した場合、エレベーター付きの住宅を割り当てるなどの配慮をする」としている。

市は一方で、被災した高齢者や障害者、妊婦を対象に、市営住宅など約二百戸を優先的に無償で提供する。公募はせず、市が避難所などで把握した個人情報から対象者を選定する。五月中の入居を目指す。

### **【熊本地震】高齢者優先で住宅無償提供 障害者や妊婦も** 熊本市

産経新聞 2016年5月3日

熊本市は3日、地震で自宅が全半壊し、避難所などで生活している高齢者や障害者、妊婦を対象に、市営住宅など約200戸を優先的に無償で提供すると発表した。公募はせず、市が避難所などで把握した個人情報から対象者を選定し、部屋を紹介する。五月中の入居を目指す。修繕した市営住宅約80戸のほか、市が借り上げている民間賃貸住宅や民間のサービス付き高齢者向け住宅計約120戸を確保した。大西一史市長は3日の記者会見で「全国的にこれまでなかった取り組み。本当に困っている人に入ってもらいたい」と述べた。

### **介護人材を被災地へ派遣**

長崎新聞 2016年5月4日

熊本地震によって被災地の高齢者福祉施設が人手不足に陥っている中、西彼長与町の社会福祉法人ながよ光彩会（前田俊昭理事長）が介護人材を現地に派遣している。マンパワーを送り込むことで施設運営を支援する。

同会は4月21日以降、職員が9回にわたって益城町や南阿蘇村に入り、リストアップ



した施設を回って紙おむつや介護食材など高齢者向けの援助物資を届けた。その中で、被災職員を抱えた多くの施設が人手不足に陥っているのを目の当たりにした。

援助物資を前に「介護人材を派遣することで、働きづめの現地職員に休養してもらいたい」と語る貞松統括施設長＝長与町本川内郷

介護人材の派遣は4月30日に開始。特に道路が寸断された南阿蘇村へは支援の手が届きにくいいため、同村の支援に集中することにした。今月8日以降、同村でデイサービスセンターを再開する特別養護老人ホーム陽ノ丘荘へ、職員を2人ずつ

3泊4日単位で交代させながら継続派遣する。

貞松徹・同会統括施設長は「現地では出勤可能な職員が休みもとれず連日働いている状況。代わりの職員を派遣することで休養を取ってもらいたい」と話す。また同会施設の職員だけでは送り出す人員が足りないことから、「職員を派遣できる施設がほかにあれば、ぜひ一緒に活動してほしい」と呼び掛けている。

### 生活支援ロボ体験 神奈川県がモニター募集

産経新聞 2016年5月4日

生活支援ロボットを体験してみませんか。県は「さがみロボット産業特区」事業の一環で、県内の施設職員や個人に対して介護支援やコミュニケーションができるロボットを体験してもらうキャラバンやモニター制度を始める。昨年度から始まったもので、今年度は対象ロボットを増やす。ロボット体験キャラバンは、県内の介護・福祉・障害者施設や医療機関などを対象に、県が提供する15種類のロボットから6～8種類を持参して施設を訪れる。年間100カ所程度の訪問を計画しており、第1次募集は13日まで募集する。モニター制度は、コミュニケーションロボット「うなずきかぼちゃん」や自動で本のページをめくることができる「リーだぶる3」など8種類を1カ月間無料で貸し出す。一部のロボットは個人でも申し込める。来年1月25日まで募集する。県産業振興課の担当者は「ロボットに直接触れ、体験してもらうことで生活支援ロボットの現場での導入を加速させたい」と狙いを説明する。キャラバンの応募は県ホームページの専用フォームなどで受け付ける。問い合わせは同課（電）045・210・5630。

### 産業用ロボット国産化推進 20年までに自主ブランド年産10万台

SANKEIBIZ 2016年5月4日

中国工業情報省、国家発展改革委員会（発改委）、財政省は先月下旬、「ロボット産業発展計画（2016～20年）」を発表、20年までに（労働者1万人当たりの産業用ロボットの使用台数を表す）「ロボット密度」を150とする目標内容を明らかにした。

同計画は、第13次5カ年計画（16～20年）期間中に「2つのブレイクスルー」と「3つの向上」を実現すると明記。具体的には、コア部品とハイエンド製品のブレイクスルー、そして品質の信頼性、市場シェア、業界の主導的企業の競争力の引き上げ実現を図る。

具体的な数値目標として、20年までに自主ブランドの産業用ロボットの年産台数を10万台、6軸以上の（垂直多関節型）ロボットの年産台数を5万台以上とする。サービスロボットの売り上げを年300億円（約4923億円）超とし、高齢者や障害者の介護、リハビリなどの領域向けの少量生産および活用も進めていく方針だ。

このほか同計画では、ロボット産業のイノベーション力を強化するため、共通主要技術

の研究強化、健全なロボット革新プラットフォーム建設、標準システムづくりをしっかりと進め、ロボットの検査・認証システム確立などに取り組んでいくこととしている。(中国新聞社)

**女子プロボクシング初の王座 秋田屋選手に芦別市栄誉賞** 北海道新聞 2016年5月3日  
チャンピオンベルトを肩にかけ、芦別市栄誉賞の記念盾を手にする秋田屋まさえ選手と今野宏市長



【芦別】市は2日、3月の東洋太平洋女子アトム級タイトルマッチで初の王座に就いた芦別出身のプロボクサー秋田屋まさえ選手(37)＝本名・伊藤雅恵＝に、市栄誉賞を授与した。秋田屋選手は「チャンスがあれば世界タイトルに挑戦したい」と意欲を語った。

秋田屋選手は大阪・豊中市の障害者授産施設で働きながら練習を積み、2008年の日本ボクシングコミッション第1回女子プロテストに合格。2度目の世界王座挑戦で敗れ、引退したが、「心のもやもやが消えず」(秋田屋さん)、2年前に現役復帰した。タイトル奪取は今回が初めて。

昨年夏、一番応援してくれた祖母初枝さんを亡くし、約束のベルトを巻く姿は見せられなかった。1日に帰省し、実家の仏壇の前で「間に合わなくてごめんね。約束のベルトを取ったよ」と泣きながら報告したという。

市役所での授与式で、今野宏市長は「再挑戦した努力はすばらしい。これからも頑張ってください」と激励。秋田屋選手は「すばらしい賞をいただき光栄です。市民のサポート、応援のおかげでタイトルを取れました」と感謝した。(池田祥)

**【暮らしのハテナ】思いがけない子供のトラブル 誠意持って親子で対応 個人賠償責任保険も** 産経新聞 2016年5月4日



元気よく遊ぶ子供。思わぬトラブルに備えて保険などを見直したい

運動場で友達とぶつかって眼鏡を壊し顔にけがをさせた、子供が蹴ったボールが近所の家の窓ガラスを直撃し割ってしまった。元気に動き回る子供たちは、思いがけない事故やトラブルに巻き込まれることがある。そんなトラブルにどう備え、起きてしまった場合にはどう対処すればいいだろうか。(岸本佳子)

他人の所有物を破損してしまった、けがを負わせてしまったなど、日常生活において、法律上の損害賠償責任が発生した場合、補償してくれる保険としては、「個人賠償責任保険」がある。単独では存在せず、火災保険や自動車保険、傷害保険などの特約として加入する。

子育て中の母親など女性を中心に家計に関する相談を受けているファイナンシャルプランナーの前野彩さんは、「個人賠償責任保険は年間1000円から2000円と掛け金が安いわりに補償額が1億円程度と大きいのが特徴です。相談にいらっしゃる方には、ひとまず、1億円ぐらいの保険金額がでるような特約をつけることを勧めています」と話す。さらに「示談サービス」があればぜひひとつつけておくよう勧めている。「たとえば自転車で相手をけがさせてしまったというようなケースであれば、謝罪しながらお金の交渉もするのは精神的にも非常に辛い。金銭交渉はプロに任せたいほうがいい」という。

個人賠償責任保険では、対象外となるケースもあるので注意が必要だ。わざと友達のもの壊した、という場合には適用されない。「子供が父親の高級ゴルフクラブを振り回して折ってしまった」など家族間のトラブルにも適用されない。「あくまで法律上の損害賠償責

任が発生した場合に限ります」(前野さん)。

子育て中は、「他人のものを壊した、けがをさせた」といったケースを心配して、複数の保険をかけようとするケースもあるという。ただし、個人賠償責任保険は家族の1人が加入していれば、家族全員が補償の対象となる。複数の保険に特約をつけていてもあまり意味がない。また、「部活中にけがをした」「休み時間に鉄棒から落ちて骨折した」など学校の管理下でのけがについては、日本スポーツ振興センターの「災害共済給付」制度があり、給付金が支払われる。「自分のけがには健康保険制度や乳幼児医療費助成制度があり、災害共済給付もある。他人に対するけがや物損を個人賠償で補うと考えてほしい。これを機に、保険証書を見て1度、特約などを確認してみてください」とアドバイスする。

残念ながら子供同士のトラブルが起きてしまった場合、親はどう対応すればよいだろうか。

クレオ大阪子育て館(大阪市北区)の子育てに関する電話相談には、「小学2年生の息子がふざけて靴を投げたら友達の水に当たってしまった」「小3の息子が学校で遊んでいるうち友達にぶつかって相手の前歯が折れた」など、子供のトラブルに関する相談も数多く寄せられている。

相談担当リーダーの広田道子さん(64)は「まずは相手に誠意をもって対応してほしい。そして学校にも相談を」とアドバイスする。子供に対しては、本人の言い分もよく聞いた上で、起きてしまったことについてはよく理解させる。大きなトラブルであれば謝罪には親子いっしょに行くことも大切だ。「親だけで解決してしまっただけでは、子供は何があったかよくわからないまま。謝っている姿を見せることも大切です。子供のトラブルのときこそ親の出番、といった気持ちで誠実に対応していただきたい」と話している。

### 自転車保険と個人賠償責任保険の補償の違い

	自転車保険	個人賠償責任保険
自転車事故	他人にけがをさせた	○
	他人のものを壊してしまった	○
	自分がけがをした	×
	自分のものが壊れてしまった	×
日常生活での事故	他人にけがをさせた	※○
	他人のものを壊してしまった	※○
	自分がけがをした	×
	自分のものが壊れてしまった	×

※は商品やプランによっては対象外のこと。前野彩著「本気で家計を変えたいあなたへ」から

### 子どもがすぐ寝る読み聞かせ…絵本に心理学ミックス 自律訓練法をベースに

読売新聞 2016年5月4日

「読み聞かせると子どもがすぐ寝る」と評判の絵本が75万部のベストセラーになっている。作者の心理学と行動科学の知識が生かされているという。その仕掛けと支持される背景を探ってみた。

奈良県斑鳩町の小学3年生、西橋駿君(8)は夜11時過ぎまで起きているのが日常だった。担任教師から「授業中に居眠りしている」と注意された母親の雅子さん(47)は昨年11月に発刊された「おやすみ、ロジャー」(飛鳥新社)を読み聞かせてみた。

「20分ほどで本当に寝ました」と雅子さん。駿君の感想は「僕、眠り方がわかった」。今では夜9時台に就寝している。

絵本はスウェーデンの行動科学者カール＝ヨハン・エリーソンさんが考案した。子ウサギのロジャーが眠りを求めてさまようストーリー。「ゆっくり、ゆっくり」といった繰り返しが多いほか、読み方の指示があるのも特徴で、特定の箇所をゆっくりとか、あくびしながらとか、変化を加えて読み聞かせる。自費出版だったが、英訳されるとたちまちヒットした。

日本語版を監訳した快眠セラピストの三橋美穂さんは「この本は自律訓練法をベースに作られていることがポイントの一つ」と説明する。

自律訓練法は、リラックスする姿勢や自己暗示を手順に沿って実践する心のトレーニング。体の力を抜いた状態で、「気持ちが落ち着いている」「手足が重たい」「手足が温かい」などと、段階を追って暗示していく。心身のバランスが崩れる自律神経失調症の治療に効果がある。

国際医療福祉大教授で心療内科医の村上正人さんは「自律訓練法は本来、眠るためのものではないが、眠りに応用することは可能」と話す。村上さんは講義前にこの手法で学生をリラックスさせているが、実際、途中で眠ってしまう学生もいるという。

絵本研究者には、「絵本は催眠術ではない」と批判的な声もある。

「絵本というより、実用書と思ったほうがいい」と言うのは、読み聞かせの効用を科学的に実証した東京医科歯科大教授で脳科学者の泰羅雅登さん。「読み聞かせは、感情をつかさどる大脳辺縁系を発達させ、子どもの感受性を豊かにする。内容が面白いと寝てくれないという指摘もあるが、この本は、そんな絵本とは別。寝かしつけに悩む親にとって助かるツールでしょう」

子どもの夜更かしは、心身の不調につながる場合もある。文部科学省の調査だと、午後9時前に寝る小、中学生の18%が「自分のことが好き」と答えたが、遅く寝るほど減る傾向で、やる気につながる自己肯定感が乏しくなることがうかがえた。

子どもと眠りについて研究する小児科医の神山潤さんは「昔の人には自然に身に付いていた眠り方が、今は失われ、この本が“おばあちゃんの知恵”のように活用されているのではないか」とみる。

社会全体が夜型になった現代。神山さんは「早く寝かせようと躍起になるより、親子で眠りを大切にする意識を持って」とアドバイスしている。

**メモ** 文部科学省の全国調査は、生活習慣と子どもの自立の関係を調べた。小中高生約2万3000人が回答。昨春発表された。休日と平日で起床時刻が2時間以上ずれる子どもほど授業中に眠くなることが多い、寝る前にテレビなどに接する子どもほど、朝、布団から出るのがつらいと感じている——などがわかった。(高梨ゆき子)

## 児童の「居場所」開設 夕張・南方地区、旧緑陽中学校舎に 北海道新聞 2016年5月4日 「子どもたちの居場所」が設けられる「あ・りーさだの杜」(旧緑陽中)

【夕張】市教委は本年度、市内沼ノ沢の障害者スポーツ活動拠点「あ・りーさだの杜(もり)」(旧緑陽中)に、小学生が放課後に集まることのできる「子どもたちの居場所」を開設する。沼ノ沢など学童保育がない市内南方地区で、行政と地域が知恵と力を出し合いながら子ども同士で遊んだり学んだりできる場を作る狙い。空き教室を活用し、大型連休明けの5月9日に開設する予定。



「居場所」は定員25人の事前登録制。ゆうばり小児童のうち沼ノ沢、真谷地、紅葉山、滝ノ上、楓、登川の各地区在住者を対象とする。開所は平日午後3～7時。費用は無料だが、スポーツ安全保険(年額800円)への加入を条件とする。運営は、あ・りーさだの杜を営むNPO法人あ・りーさだ(正木英之代表)と市教委が共同で行う。

市内の小学校は1校だけで、沼ノ沢など登録対象地区の児童は路線バスで通学している。このため放課後に子ども同士で集まるのが難しく、保護者から「バスを途中で降りて、安全に集まれる児童館のような場所がほしい」との声が上がっていた。今回は、財政再生団体である市にはこうした場所を設置する予算措置が難しいことから、NPOの協力を得て既存施設を活用することにした。

市教委は「学童保育のように子どもを預かるのではなく、集まった子どもたちの自主的

な活動を支える場で、保護者や地域住民の応援も得ながら、子どもたちがのびのびできる場所に育てたい」と話している。(佐藤元治)

### 栗山千明 3つの愛、ドラマGP助演女優賞&作品賞 日刊スポーツ [2016年5月4日 <第19回日刊スポーツドラマグランプリ受賞者発表>

女優栗山千明(31)が「第19回日刊スポーツ・ドラマグランプリ」の助演女優賞に輝いた。15年4月期のTBS系「アルジャーノンに花束を」で、上司へ好意、山下智久が演じた主人公への慈愛や、その後天才に変化した主人公への真剣愛など、さまざまな愛を表現する難役をこなした。また、同ドラマは作品賞も受賞し、主演男優賞とあわせて3冠となった。

トロフィーを手にした栗山は「純粋にうれしいです。苦しんで演じたので報われました」と苦労をうかがわせながら喜んだ。

演じたのは脳生理科学研究センターの研究員望月遥香。正義感が強く、感情的になり、突発的な行動もある役。栗山は「役の心情を理解するのに苦しみました。私は感情論でものを考えず、理屈で心情を考えるタイプ。理屈ではなく感情で行動する役は初めて。どう自分の中にふに落として演じるか難しくて」と振り返った。

さらに難役だったのは複数の愛の表現だ。最初は上司に好意を寄せ、山下智久が演じた知的障害者の主人公の白鳥咲人には、母に似た愛を注ぎ、その後、新薬で天才となった咲人との真剣な愛に発展する。

栗山は「恋愛作品もそれほど経験がなかったので、もんもんと迷い、ずっと苦しみながら演じていました。恋愛対象を見るシーンでは目ではなく耳を見るなど微妙な表現を工夫したり。今までは意思が強かったり、クールな役が多く、自然とそう演じる癖がありました。それが取り払われた気がします。演技の仕方が大きく変わったと思います」と成長を口にした。

栗山が本来持つ、人としての優しさ、柔らかさが根底にあって成立した役かもしれない。栗山は「そう書いていただいているいいですか」とニコリ。また、プライベートでの恋愛の姿勢には「友達みたいな感じが好き。おいしい物を食べに行こうみたいなラブな感じですかね」と明かした。

現在、テレビ朝日系「不機嫌な果実」に主演し、禁断の恋におぼれる妻を演じている。「『アルジャーノンに花束を』のおかげでこの役が来たと思います」。芝居の幅が広がった栗山が今後どんな恋を表現するのか楽しみだ。【中野由喜】

◆栗山千明(くりやま・ちあき) 1984年(昭59)10月10日生まれ。出生地非公表。5歳からモデルとして活動。99年映画「死国」で女優デビュー。映画は03年「キル・ビルVol.1」、04年「下弦の月〜ラスト・クォーター」で初主演。ドラマは11年の日本テレビ系「秘密諜報員エリカ」で初主演。10年に「流星のナミダ」で歌手デビュー。血液型A。

◆「アルジャーノンに花束を」 15年4月期に放送された山下智久主演のTBS系ドラマ。知的障害者の主人公白鳥咲人(山下)が、ヒロイン望月遥香(栗山)ら脳生理科学研究センターの研究により、高い知能を手に入れるが、当初の純真な心を失う。その後、愛する遥香の悲しみを知った咲人が優しさを取り戻すなど、2人の姿と周囲の友情を織り交ぜ、人の愛と純粋な心の美しさを描く。

### 「自由意思」を意味するラテン語「ボランタス」が語源だそうだ…

西日本新聞 2016年05月04日

「自由意思」を意味するラテン語「ボランタス」が語源だそうだ。志願兵などを指す言葉として使われた。「ボランティア」。日本では無報酬の社会奉仕と訳される▼大型連休中

の熊本地震被災地に多くのボランティアの姿がある。少しでも被災者の役に立てれば。そう願って県内から、九州各地から、全国から。東日本大震災の恩返しをと、遠く東北から駆け付けた人たちも▼熊本市のボランティアセンター。受け付け開始の何時間も前から整然と並んで待つ人たちを見ると、日本人はすごい、と胸が熱くなる。誇らしくもなる。希望者が多くて、あぶれた人は、せっかく来たのに、とがっかりしようが、思いは確実に被災者に伝わっている▼震災に奪われた日常を取り戻すためには、さまざまな人の助けがいる。医療や福祉、行政、建設関係などあらゆる分野のプロはもちろん、「普通の人」の力も大切だ。救援物資の仕分けや避難所の清掃、がれきの撤去、高齢者や障害者宅の片付けなど、人手を要する仕事もたくさんある▼ただ、必要としている所にボランティアを効率よく割り振ったり、送迎したりといった差配が追いついていないという。連休後はボランティアが急に減るといった心配もある▼善意の力をもっと生かしたい。受け入れ態勢の拡充は急務だ。切れ目ない支援のため、企業や団体には人材の派遣や有給休暇の柔軟な運用などもお願いしたい。

### 【主張】1億総活躍プラン 具体策さらに練り上げよ 産経新聞 2016年5月4日

国民が知りたいのは「介護離職ゼロ」や「希望出生率1・8」といった目標を実現するための具体的な道筋である。

政府が「1億総活躍プラン」の概要を固めたが、踏み込み不足の印象を免れない。安倍晋三首相には、実効性が上がるようプランをさらに練り上げてもらいたい。

これらの目標の達成には、働き方の見直しや住宅政策、交通政策、社会保障制度改革など広範なテーマを横断的に見直す必要がある。求められているのは既得権も恐れぬ斬新なアイデアだ。

だが、目立った具体策といえば保育士と介護士の待遇改善ぐらいだ。他産業との賃金差の解消に向け保育士は月額6千円程度引き上げ、技能や経験を積んだ人には別途上積みする。介護職員も月額1万円程度アップするという。

処遇の改善は喫緊の課題であり一歩前進ではある。だが、待遇を改善したからといって「介護離職ゼロ」や「希望出生率1・8」が実現するわけではないだろう。

例えば介護だ。安倍政権は昨年秋、1億総活躍に関連して特別養護老人ホーム（特養）などの整備を進める方針を打ち出した。だが、施設介護に転じるのか、引き続き在宅ケアを推進するのかをあいまいにしたままだ。

施設は足りないのに、在宅ケアの切り札である「地域包括ケアシステム」は普及しておらず、国民の不安が募っている。こうした不安に応えることこそプランの役割でなかったのか。

職員の低賃金対策にしても、それだけで人手不足を解消できない。退職理由には労働時間の長さや仕事の責任の重さ、体力面の不安も多い。労働環境の劣悪さを解決することなく、わずかばかり賃金を上げて、新たな人材は呼び込めないだろう。とても介護離職がゼロになるとは思えない。

職員配置要件の見直し、専門性向上のための研修、ICT（情報通信技術）化、短時間正社員化などにも取り組むとしている。だが、待遇改善の約2千億円さえ安定財源の確保にめどが立っていない。企業の理解を得るための方策も含め丁寧な説明がほしい。

「1億総活躍社会」が何を指すのか、いまだイメージできない国民が多い。政策メニューを並べ立てる段階は終わった。どう人口減少社会に立ち向かうのか、首相のリーダーシップに期待したい。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も  
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行

